

<東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞>

国民が幸せと思える国づくり

いわき市立平第一中学校 3年 山田 喜愛

「医療費がかからないから助かるね。」母はよくそう言います。

私はソフトテニス部に所属していたため、よく腕や足をけがして病院に行っていました。

私が住んでいる市では高校卒業まで医療費負担がなく、それも税金で賄われていることを知りました。

今回税について調べてみるとデンマークの税率が25%で日本の約三倍というびっくりするような記事を見つけました。デンマークの人はこんな高い税金を払って本当に幸せに暮らせているのかなと思いました。しかし、デンマークは国民の幸福度ランキング世界一で国民は幸せと感じています。なぜ国民の負担が大きいのに国民は幸せに暮らせているのか。その理由はデンマークは福祉国家といわれる程医療や福祉に力を入れています。

例えば医療費は無料で老人になると介護サービスも無料でおこづかいまでもらえます。だから国民は自分のしたい事を楽しみ、将来のために貯金をしたり、老後の心配をする必要もない夢のような暮らしをしています。

しかし日本では税率が少しでも上がることにに対して不快感を感じたり、お金があるのに滞納する人が出てきます。ではどうすればデンマークのようにみんなが税について前向きになれるのか考えました。それは、デンマークのように福祉や子育てなどで困ったときに助けてもらえるシステムを作ることです。

日本は今、高齢化が進んでいたり、保育園不足などで子育てが大変というような問題があります。だからそのような問題を少しでも解決できるシステムができたらいいなと思います。それと、どのくらい税金が集まり、どのように使われているのかを国民が知れるようにすることです。こうすることで不公平感がなく、みんなが安心して

税金を払うことができると思います。もちろん、国民が税金について理解することも大切ですが、国や地方自治体がみんなに知ってもらう努力をすることも大切だと思いました。税金についての正しい理解があると、みんなに納得して税金を払ってもらえるし、滞納する人も減ると思います。

私は今回税について調べて税のしくみのおかげで私たちの安心安全な生活が成り立っているんだなと思いました。そして、国と国民との間の信頼関係をもっと深めて、デンマークのような国民が幸せだと思える社会になっていけばいいなと思いました。これからは、私自身ももっと税金について学び、自分が税金を納める歳になったらきちんと納めるようにしたいと思います。